

2020.11.10

会員各位

平素より毎々格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

今回は以下のトピックスをお伝えいたします。

◆処遇改善等加算 I 及び II の具体的な手続きの方法等が図解される◆

10月29日、内閣府子ども子育て本部のHPにおいて、7月30日に発出された内閣府・文科省・厚労省連名の通知「施設型給付費等に係る処遇改善等加算 I 及び処遇改善等加算 II について」を図解した資料が公開されました。

処遇改善等加算の I と II のそれぞれで新規事由「あり」「なし」の場合における申請から実績報告までの記入例や注意事項等が示されたほか、これまで通知上で明確に記載されることがなかった人事院勧告のマイナス改定も想定されたものとなっております。

内閣府 HP

「施設型給付費等に係る処遇改善等加算 I 及び処遇改善等加算 II について」

(1 / 2)

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/faq/pdf/kaizen/kyufu_kasan1-2-1.pdf

(2 / 2)

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/faq/pdf/kaizen/kyufu_kasan1-2-2.pdf

◆令和 2 年度の最終的な人事院勧告が出される◆

10月7日に令和2年度の人事院勧告が出されました。前回のメールニュースでも特別給(期末・勤勉手当)に関する人事院勧告の減額についてお知らせいたしましたが、今回は月給分を含めて今年度の最終的な勧告がまとめられております。

民間と国家公務員の2020年4月分の給与にはほとんど差がなく(国家公務員が△164円)今年度は月例給の改定はなし、ボーナスを0.05月分引き下げとなりました。月給は去年まで6年連続で引き上げられていて、改定見送りの勧告は7年ぶりです。勧告通り引き下げられれば、国家公務員の平均の年収は2万1000円減り、673万4000円となります。

今回は4月の時点でコロナ禍の影響が出にくかったことも想定されますが、来年4月の時点の月給は下がる可能性もあります。2020年8月から2021年7月までの民間の特別給(期末・勤勉手当)はすでに下がっていることから、次年度の人事院勧告も減額改定となる可能性もあるため、園運営に影響が出る内容として引き続き注視が必要です。

人事院 HP

令和2年人事院勧告「ボーナスに関する勧告・報告、公務員人事管理に関する報告」

<https://www.jinji.go.jp/kankoku/r2/pdf/2point.pdf>

◆不妊治療との両立のための職場環境整備に向けた検討会が開催される◆

10月26日に「不妊治療を受けやすい職場環境整備に向けた検討チーム」の第1回目の会合が行われました。不妊治療への社会的な理解を促進するため不妊治療と仕事の両立のための職場環境の整備、不妊治療等に関する情報提供・相談体制の強化を3本の柱として議論が進められ、年内に中間取りまとめを行う予定となっています。これに関連して厚生労働省では事業主・人事部門向けのマニュアルやサポートブックを発行しておりますが、休暇制度の例として、他事業の取組も紹介されています。

2019年度の出生数は約86万人、2020年度はコロナ禍の影響でさらに減少する可能性があります。保育・教育施設においてはこの数が事業継続の大きな要因となることでしょう。不妊治療を含めて出産を希望する職員が多数いるでしょうから、事業所として職員が子どもを産みやすく、自園においても育てていける施設であるという環境の整備については、今後の検討の余地があると言えます。

厚生労働省 HP

「不妊治療と仕事の両立のための 職場環境整備について」

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/infertility/k_1/pdf/s3.pdf

「不妊治療を受けながら働き続けられる職場作りのためのマニュアル」（事業主向け）

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/dl/30k.pdf>

「不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック」（本人・上司・同僚向け）

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/dl/30l.pdf>

<保育所サポートデスク事務局内の新たなメンバーのご紹介>

事務局の柳です。令和2年度では例年のメールニュースの配信や個別の相談対応とともに、新たな試みでオンラインでのセミナーを開催させていただきました。ご参加いただいた皆様から貴重なご意見をいただいておりますので、今後の運営やセミナー開催等に役立ててゆきたいと考えております。

さて、令和の元号になりましたが保育所サポートデスク事務局では新たな分野・専門性を持ったメンバーが加わっておりますので、少し時間がたってしまいましたが、あらためて皆様にご紹介させていただきます。

●長村 千尋（おきむら ちひろ）

<主な経歴>

保育・教育関連会社の乳幼児から高校生向け家庭学習教材の販売及び進路相談、小学

